

【地域の概要】

○古川町黒内地区 農地面積	46.2 ha			
○認定農業者耕作面積	3名 2.9 ha			
○農事組合法人等耕作面積	2組織 21.9 ha			

①取組開始前の状況や課題

古川町黒内地区は中山間地域であり高齢化が進み、担い手不足等農業離れが進んでいる地域である。

認定農業者、農事組合法人等が中心となり農地の集積、集約化の取り組みを行っているが自作農家もある。

また、それぞれの農業者及び組合法人等においては集積地区が点在しており地形による課題や人が原因による課題も大きいので地域の話し合いで現況地図を見ながら10年後に目指すべき農地利用の姿を目標地図で表示する。

- 狭小な農地
- 高低差があり畦畔の管理が大変
- 高齢化である
- 後継者がいない
- 農業機械が高く購入できない
- 農地に対する意識が低い

②取組内容

地域農地の現状把握（令和5年7月）

○地域の農業委員、最適化推進委員、改良組合長等認定農業者、組合法人等、状況把握現地確認

農事組合法人との会議（令和5年11月）

○現状農地の集積状況について共有
今後の集積、集約化に向けて組合法人と協議

認定農業者との会議（令和5年12月）

○現状農地の集積状況について共有
今後の集積、集約化に向けて協議

○自作農家との会議（令和6年1月）

現状と今後における農地の活用及び意見や取り組みについて協議



現状写真説明

③今後の展開と方向性

農事組合法人等における農地の集積地区の見直し

農事組合法人と認定農業者との集積、集約化の協議

自作農家の今後の農地利用及び意向や取り組みについて協議

黒内区役員会に報告



今後の集積、集約化写真